

各位

日本軽金属ホールディングス株式会社

## 第54回小山田記念賞（軽金属学会）受賞

『吸音仕上げ材アルミッシモの開発』

当社グループの日本軽金属株式会社（本社：東京都品川区、社長：岡本一郎）と理研軽金属工業株式会社（本社：静岡県静岡市、社長：入山豊）は、「吸音仕上げ材アルミッシモの開発」について、一般社団法人軽金属学会より第54回小山田記念賞を受賞しました。



2019年11月1日（金）表彰式（東京農工大学にて）

左から

理研軽金属工業(株)リッカルビジネスユニット 小池夏樹  
軽金属学会会長 岡本一郎

（日本軽金属ホールディングス(株)代表取締役社長  
兼 日本軽金属(株)代表取締役社長）

日本軽金属(株)グループ技術センター 崎本佑

### ●吸音仕上げ材『アルミッシモ』とは

今回の受賞対象となった「吸音仕上げ材アルミッシモの開発」は“音環境の制御と意匠の両立”という新たな切り口でアルミニウムの可能性を追求したものです。

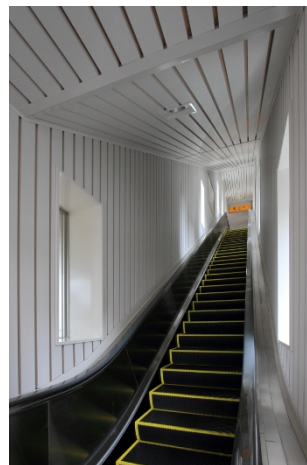
現在、商業施設や公共施設などの屋内建築空間の設計において、快適な空間を得るために施設の用途や大きさに応じて音を適切に減衰させる要望が増えています。従来、グラスウールやウレタンフォームなどの多孔質型吸音材が多く使われてきましたが、意匠性が低いためデザイナーの要望に十分に答えられないことや、安全性や環境の観点から多孔質材を避ける傾向も出てきており、意匠性に優れた多孔質型でない吸音材が望まれてきました。

本開発商品は、アルミニウム押出型材を用いた共鳴器型の吸音構造であり、押出型材で形成される共鳴器の形状を変化させることで任意の周波数帯で吸音を制御できることに加え、押出型材の表面に木目調などの意匠性を付与することが可能であり、用途に応じた適切な音環境をデザイナーの求める意匠で提供できる商品です。また、アルミニウムの不燃性を生かし、公共空間での使用で求められる不燃材料認定も取得しており、さまざまな施設で採用いただいております。

●本製品の採用例



物件名：学校法人中央大学 多摩キャンパス  
Cスクエア 中ホール  
使用製品：アルミ屋内用吸音機能付仕上材  
『アルミッシモ RKY-38100』  
施工面積：379 m<sup>2</sup>  
使用数量：3.9ton



物件名：JR草薙駅（JR東海・静岡県）  
使用製品：アルミ屋内用吸音機能付仕上材  
『アルミッシモ RKY-38100』  
施工面積：228 m<sup>2</sup>  
使用数量：2.3ton

●その他

本製品について詳しくは以下のサイトをご覧ください。

理研軽金属工業株式会社 製品紹介 HP

(<https://www.rikenkeikinzoku.co.jp/products/building/index.html>)

●小山田記念賞とは

小山田記念賞は、軽金属の生産ならびに製品に関係したわが国の優れた技術を対象とし、その技術を確立した発明・考案あるいは研究の功績者に対して贈られるものです。

以 上

本件に関するお問い合わせ：日本軽金属株式会社 広報室（TEL：03-5461-9333）

製品に関するお問い合わせ：理研軽金属株式会社 経営企画室（TEL：054-284-3174）

【ご参考】 日本軽金属グループ 「小山田記念賞」 過去の受賞一覧

第 50 回 平成 27 年度	中性子吸収材 MAXUS® (マクサス) (炭化ホウ素含有アルミニウム基複合材料) の開発	日軽新潟(株) 日軽金アクト(株) 東洋アルミニウム(株) 日本軽金属(株)
第 46 回 平成 23 年度	超低抵抗値を有する電極用複合材料「トーヤルカーボ®」の開発	東洋アルミニウム(株)
第 44 回 平成 21 年度	アルミ耐震補強工法の開発と実用化	(株)住軽日軽エンジニアリング
第 41 回 平成 18 年度	ダイカスト法を用いた高強度ピストンの開発	(株)本田技術研究所 日本軽金属(株) 本田金属技術(株)
第 37 回 平成 14 年度	急凝固粉末押出材による高性能シリンダライナの開発	ヤマハ発動機(株) 日本軽金属(株) 東洋アルミニウム(株)
第 32 回 平成 9 年度	鑄造鍛造プロセスによるアルミニウムロードホイールの実用化	日産自動車(株) 日本軽金属(株) (株)神戸製鋼所
第 31 回 平成 8 年度	熱間鍛造法によるアルミニウム合金製スクロールの製造技術	日本軽金属(株)
第 26 回 平成 3 年度	パワーステアリング用耐圧、耐摩耗アルミニウム鍛造部品の開発と実用化	日産自動車(株) 日本軽金属(株) 昭和電工(株)
第 23 回 昭和 63 年度	マルチグレイン PS 版の開発と実用化	富士写真フィルム(株) 日本軽金属(株) (株)日軽技研
第 21 回 昭和 61 年度	陽極酸化建材の電解着色法ユニコールの開発と実用化	(株)日軽技研 日本軽金属(株)
第 15 回 昭和 55 年度	アルミニウム型材によるトラック荷台用あおりの開発	日本軽金属(株)
第 14 回 昭和 54 年度	アルミニウム製生ビール樽および生ビール注出器の開発	日本軽金属(株) 武内プレス工業(株)
第 7 回 昭和 47 年度	アルミニウム合金スクイズキャスティング法の実用化	ワシアルミ(株) 名古屋工業技術試験所 (株)日本軽金属総合研究所